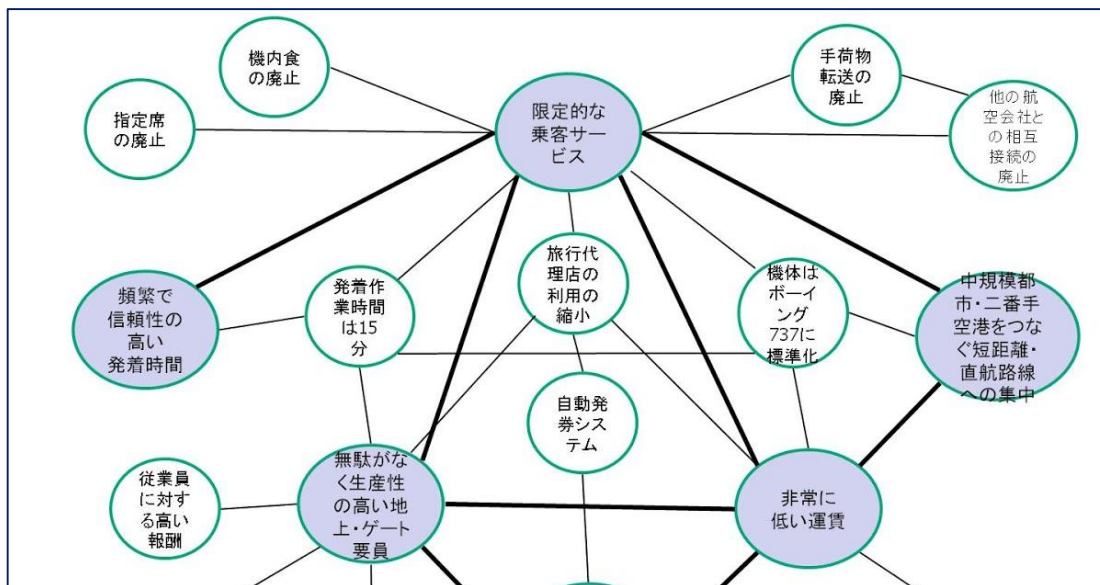


「活動システム」を実現するIT化の3つの理論

活動システムとは？



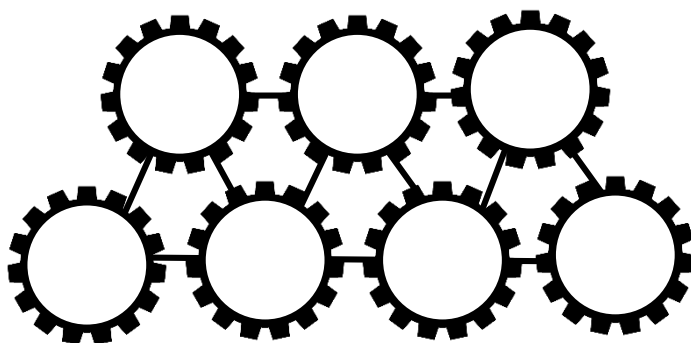
M・E・ポーターが提唱した、
自社独自のさまざまな活動を連携した、圧倒的な仕組み。
密接に連携するシステムは模倣が難しい。

この「活動システム」の「シームレス化」に
貢献するのが**ITシステム**

システムの裏側で
複雑な活動を整理

自動化

分析・評価による改善
を繰り返します。



シームレスな仕組み作りに
欠かせないのが

IT分身化

IT武器化

IT動力化

の3つの考え方です

ITを会社の「武器」にする

BAISOKU

株式会社BAISOKU 東京都練馬区中村北2-20-11 ソフィア中村橋2F

TEL: **03-6907-3904**

Mail: info@baisoku.co.jp <https://baisoku.co.jp>

「活動システム」を実現するIT化の3つの理論

1 IT分身化

「できる人」の仕事のやり方をコンピューターでシステム化
▶ 「できる人」の「分身」をたくさんつくるイメージ

できる人(社長、マネージャーなど)の
仕事のやり方や仕組み

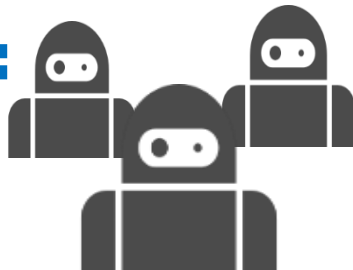


ヒアリングして
取り出す

独自に
システム化



自社の仕事を熟知した
「分身」システムができあがる



- 管理職がその場
いなくてもシステム
が管理
- スタッフが使えば
誰でも標準化した
仕事ができる
- 残業、
人手不足の解消

2 IT武器化

個人の仕事のやり方を取り出してシステム化

▶ できあがったシステムが武器となり個人の能力を底上げするイメージ

〇〇さんしかできない仕事

「私しかできない...」
「休めない...」

社員

社員個人が抱える仕事の
ブラックボックス化

やり方
知識
気持ち

独自にシステム化



ヒアリングして
取り出す

IT武器完成!

個人の頭の中にある仕事のやり方
(プログラム)と知識(データ)をコン
ピュータで仕組み化して外に出す。

みんなが使える!



個人の能力レベルに依存せず
一人ひとりがパワーアップ!

3 IT動力化

人間の仕事を自動化する、会社にあった独自システムを作成

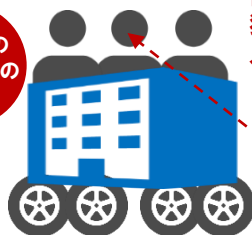
▶ システムがゴール(会社の利益)に向けて自走するイメージ

ツール型の
システムの場合



一見ITツールで効率化している
ように見えるが動力は「人」
ツールによって細切れに効率化した仕事を
結局は人が補っている状態

動力型の
システムの場合



自社にあった
独自システム構築で
人間の仕事を自動化。
「自走するシステム」

そのうえで人が活動する
ため労働時間の適正化、
生産性アップ

GOAL

会社の利益

IT化のお悩み、ご相談ください!

ご相談
無料!

「ITわからない」でも大丈夫!
私たちがゼロから丁寧にヒアリングします!

TEL: 03-6907-3904

Mail: info@baisoku.co.jp <https://baisoku.co.jp>

株式会社BAISOKU

BAISOKU